

女子戦評

大会名 第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦

日 時 平成23年10月15日～16日

会 場 青森市民体育館

女子決勝（10月16日）

弘前学院聖愛高等学校 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 12 \\ 25 - 13 \\ 25 - 8 \end{array} \right\}$ 0 木造高等学校

ファーストレフリー 小林 秀 樹

セカンドレフリー 山 道 律 人

7年連続9回目の選手権大会出場を目指す弘前学院聖愛高等学校（以下聖愛）と17年ぶり6回目の優勝を目指す木造高等学校（以下木造）の対戦。第1セット木造がレシーブでラリー展開は作り出すも、聖愛のサイド攻撃が随所で決まり、聖愛リードでゲームが展開される。中盤以降も聖愛が川村のサーブと花田の速攻で突き放していく。終盤木造は小野の速攻で反撃するが最後まで流れをつかめず25-12で聖愛が第1セットを先取する。第2セット序盤は、木造のブロックアウトを狙ったサイドからのスパイクが決まり点の取り合いでスタートするが、聖愛川村のスパイクが連続で決まり、聖愛が主導権を握りながらゲームが展開される。木造もサイド攻撃で加点するが、聖愛のリズムと高さの前になかなか流れをつかめない。終盤も聖愛川村のスパイクが連続で決まり、25-13で聖愛が第2セットも連取する。第3セットも聖愛セッター上野を中心としたコンビバレーと花田のブロックで10連続得点を奪いリードを広げていく。中盤にかけても聖愛の速攻が連続で決まり着実に加点していく。最後まで聖愛川村のスパイクが効果的に決まり25-8で聖愛が7年連続9回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 村元 直記